



# 扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 12  
令和5年 10月 4日  
TEL. 58-2178 校長室

〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す  
〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

## 回 覧

自治会の皆様  
願ひします

### 前期終了。後期も成長し続ける五小っ子に！

#### 「躰」という日本で生まれた漢字。 日本人の立ち振る舞い。

郡市PTAの懇親会場である方に「渡部先生、ダメなことをダメだと厳しく教えてくれる先生が減った気がする。自分の子どもには、先生は世の中に出たときに困らないように、しかってくれている、親も同じように怒るんだと教えているのですが。」と言われました。私の先輩達（おじいさんおばあさん世代）は「学校の先生は怖かった。よく怒られた。家で話せばもっと怒られた。」と昔を思い出して語ります。最近では生活習慣も保育園や学校に任せているのではということから「子育ても外注（外部発注）か。」と言われることもあります。子育てに完ぺきな答えやルールは無いと思います。不安定な世の中で親は心配、不安、迷いながら子どもたちと接しています。あいさつ、食事、トイレの使い方、人との接し方など、いつか独り立ちする子どものために、それぞれの家庭で「躰（しつけ）」として行っているはずで

朝、学校前で子どもを迎えていると児童を横断させるために停まってくれた車に対してお辞儀をする児童が増えました。「あのお辞儀は最高だ。きっと車の運転手は停まってよかった。安全にがんばれと思っているよ。」と伝えています。必ずやらなければいけない行動ではないものの、慌てず、列になってきっちり順番を守る日本人や試合後にスタジアムのゴミを拾う日本人と同様に、世界からも賞賛されている行動の一つでもあります。そんな行動ができる五小っ子が増えて嬉しい限りです。

#### 修学旅行大成功！ルールを守って楽しい旅行に！

さすが6年生。コロナ感染症やインフルエンザの流行をかわし、全員が函館の修学旅行に参加することができてホッとしています。さらに、団長の教頭先生や引率の先生方が「立派でした。子どもたちのおかげで楽しかったです！」と帰ってきました。子どもの命をあずかって引率していく教員にとって修学旅行は結構なプレッシャーです。6年生がルールを守り安全に行動してくれたことがすぐに分かりました。私からは出発式で「安全に楽しむこと。帰ってきたら家族にありがとうとお礼を言って楽しい思い出を伝えること」をお願いしました。ちゃんと守ってくれたはず・・・です。



#### バスでまち探検

急なことでしたが、保護者の了承を得て2年生とバスでまち探検に出かけてきました。テレビや新聞報道の反響は大きく、様々な方から連絡をいただきました。特に「子どもたちの素直な姿がよかった。かわいい子どもたちだね。堂々と自分の感想を話していたね。席を譲る姿がよかったね。」など五小っ子が褒められ嬉しくなりました。出発前、「なぜ？なに？どうして？など何でもいいから？（はてな）をもってほしい。君たちの純粋な？が学習には大切なんだ。」と伝えました。母体で下車したときにある児童が「校長先生、なぜこのバスはなくなるのですか？」と話しかけてくれました。「そんな疑問をもったんだね。調べたり、考えたりすることが最高の学習だぞ。」側で報道関係者がうなずきながら聞いていました。体験や疑問が教室での学びとつながるから「生きて働く力」が身に付くと思います。この企画を提案してくださったのは松山の先輩です。同級生のお母さんや地域の方が乗車してきたりするなど、ご縁を感じながら楽しい時間を過ごしました。「五小っ子には、身近な学校の周りから、能代市、秋田県、日本、世界に目を向けてほしい。」カットされていましたが本音です。



#### 順調に大規模改修

教室内の床のワックス、電気交換、学校の外壁など順調に工事が進んでいます。2階のトイレがもうすぐ完成し、後期からは全校が2階トイレを使用します。今まで1階トイレを全校で使用していたのですが大きなトラブルもなく五小っ子のマナーに助けられました。私や教頭先生が見回りをするとたまに流されていないものに驚かされる程度です。下級生も2階を使うことになりましたが今まで通り上級生が配慮してくれると思います。業者の方が暑い中、がんばってくれていることを子どもたちも職員も見えています。きれいな学校になるためにもう少しの我慢です。